

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【スポーツと芸術文化を活用した地域活性化事業】

推進当初

申請者	大分県ほか 6 自治体※	初回採択回	令和 2 年度第 1 回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	746,941千円 (215,007千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・ラグビーやアーバンスポーツ、サイクルスポーツの普及振興、合宿誘致等のスポーツツーリズム、大会開催を推進することにより、交流人口の拡大や若者の定住促進、地域経済の活性化を図る。【大分県、熊本県】 ・大分県内各地で展開されるアートプロジェクトの支援・情報発信や、カルチャーツーリズムを推進することにより、アートをきっかけとした移住の促進や住民の地域への誇り・愛着心の向上、地域経済の好循環創出を図る。【大分県】		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	<u>スポーツを活用した地域活性化</u> (1)アーバンスポーツ：体験教室やイベントの実施、大会の開催、動画放映による情報発信 43,638千円【大分県、熊本県】 (2)ラグビー：先端技術を活用した体験コンテンツ及び横浜キャノンイーグルスを活用した、イベント実施、大分県民への観戦機会の提供 30,956千円【大分県】 (3)サイクルスポーツ：ツール・ド・九州の開催及び開催に向けた機運醸成・広報、サイクルイベントの実施 125,613千円【大分県、熊本県】 <u>芸術文化を活用した地域活性化</u> (1)芸術文化と産業の連携を促す人材の育成や活動の支援、中国・韓国との芸術文化交流の支援 10,544千円【大分県】 (2)高画質顔認識カメラを活用した県立美術館来場者動態分析 1,938千円【大分県】 (3)特別支援学校生と高校生による芸術分野での交流実施、交流時に制作した作品等の県内各地での展示 2,318千円【大分県】  MRによるラグビー体験  ツール・ド・九州の開催  茶道を通じた韓国との文化交流  特別支援学校生と高校生の書道活動交流		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①スポーツ合宿等受入人数 (+ 34,400人) ②カルチャーツーリズム等参加者数 (+ 250人) ③パラスポーツイベント参加者数 (+ 4,350人) ④イベント参加者数 (+ 49,700人) 関連URL https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html		

※大分県、大分県佐伯市、熊本県、大分県日田市、大分県別府市、大分県由布市、大分県九重町の広域連携事業

事業概要【遠隔操作ロボット「アバター」の社会実装・産業創出プロジェクト】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	234,511千円 (24,498千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・「アバター」の社会実装による地域課題の解決を図る ・「アバター」を本県の経済を牽引する新たな産業へと育成していく ・4年間の実証事業の経験や成功事例を踏まえ、これまでの成功事例や有効な活用事例をもとに、民間事業者が主体となって取組むアバタービジネスの裾野の更なる拡大を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○アバター社会実装に向けた実証実験の実施・施設整備 ・教育、福祉、働き方改革等、様々な分野において社会実装を進めていくために、有効性の検証や課題の整理を行うとともに、継続可能性を検討するための実証実験を県が事業主体となって実施する（委託料）12,897千円 ○大分県アバター産業創出塾の運営 ・アバター関連サービスの創出やビジネスでの活用等を目指す県内企業主体の勉強会、「大分県アバター産業創出塾」の運営費用（委託料）11,601千円	 地場企業によるアバターロボット量産	 アバター×大規模会議利用
		 アバターを活用した教育活動	 大分県アバター産業創出塾
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①アバターの社会実装件数（+24件） ②アバターを活用した教育活動実施学校数（+30校） ③アバター産業創出塾への参加企業数（+50社） ④県内企業によるアバター関連実証事業実施件数（+30件）	関連URL	大分県未来技術地域実装協議会 https://www.pref.oita.jp/site/oita-iot-lab/avatar-miraijisso.html

事業概要【女性が輝く働き方改革実現事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	356,762千円 (71,823千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・県内経済の活力維持のため、労働生産性を高めるとともに、女性をはじめとしたあらゆる人材を活用する ・固定的性別役割分担意識の変革を図る ・女性の継続就労が可能となる働き方の導入や女性が働きやすい環境づくりを進める ・スキルアップをしたい女性へのリカレント支援などを行い、女性が存分に活躍できる大分県を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①女性が輝くおおいたづくりの推進：セミナーの開催や広報活動等（委託料）13,580千円 ②女性の多様な働き方の支援：マッチングイベントの開催等（委託料等）17,430千円 ③次世代農山漁村女性リーダーの育成 ④建設産業における女性活躍の推進：セミナーの開催や情報発信等（委託料等）19,040千円 ⑤働き方改革に向けた取組の推進：働き方改革アドバイザーによるセミナーや個別相談会等（委託料等）11,238千円 ⑥私立学校における女性理工系人材育成の支援：（委託料等）7,688千円 ⑦先端技術分野における女性活躍の推進 ⑧女性の地域活動実践力向上の支援：研修会・交流会等の開催（委託料）2,847千円  「エンパワメントセミナー」 理想の働き方プレゼン  新聞、雑誌等での 身近なロールモデルの紹介  「トップリーダーズセミナー」 建設業経営者向けセミナー  スキルアップセミナー 参加者による成果報告会		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・県の施策による女性の年間新規就業者数（+1,610人） ②・・・大分県女性農業経営士認定者数（+75人） ③・・・おおいた子育て応援団「しごと子育てサポート企業」認証企業（+370社） ④・・・理系クラス選択高校生数（女子）（+41人）	関連URL	○女性が輝くおおいた推進会議 https://www.pref.oita.jp/site/sankaku-jyoseikaigi/ ○大分県働き方改革推進会議 https://www.pref.oita.jp/site/oitarodo/hatarakikatakaikaku-2023.html

事業概要【農林水産業サプライチェーン最適化推進事業】

推進当初

申請者	大分県ほか 5 自治体※		初回採択回	令和 3 年度第 1 回募集																															
事業計画期間	R3-R7年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	747,871千円（145,032千円）																															
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	農林水産分野																															
目的（効果）	・地域農業経営サポート組織の育成や広域連携法人を設立することで、営農継続と経営発展を図る ・日本一の生産量を誇るヒラメ養殖業において、作業の省力化に向けたスマート養殖業の技術開発を図る ・これまで輸出をしたことがない事業者のファーストステップ支援を重点化することで、輸出事業者数の底上げを図る																																		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○担い手確保・育成対策の推進 ・経営継承・発展支援、集落営農構造改革（委託料等 18,264千円） ○生産対策の確立対策 ・醸造用小麦の高タンパク化対策、ブリ類養殖業生産体制強化（補助金等 5,005千円） ・ヒラメ養殖スマート技術の開発、各分野でのスマート技術の活用（委託料 41,285千円） ○流通・販路拡大対策 ・次世代へつなぐ食育の推進（委託料 3,366千円） ・直売所を拠点とした中山間地域農業の推進（需用費等 3,459千円） ・有機農業商品付加価値向上対策の実施（委託料 16,500千円） ・水稻新品種なつほのかの導入・普及拡大、うまみだけの需要拡大（補助金等 9,660千円） ・マーケットインの商品作り支援（中津市）（補助金等 17,280千円） ・加工食品海外展開、海外戦略の推進、食品輸出支援体制強化（委託料等 30,213千円）			大分県農林水産物産出額の推移 ■農業 ■林業 ■水産業 ■新規需要米等 (億円) <table><thead><tr><th>年度</th><th>農業</th><th>林業</th><th>水産業</th><th>新規需要米等</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>H30</td><td>1,259</td><td>211</td><td>386</td><td>21</td><td>1,877</td></tr><tr><td>R元</td><td>1,195</td><td>211</td><td>413</td><td>17</td><td>1,836</td></tr><tr><td>R2</td><td>1,208</td><td>175</td><td>332</td><td>22</td><td>1,737</td></tr><tr><td>R3</td><td>1,228</td><td>245</td><td>362</td><td>25</td><td>1,860</td></tr></tbody></table>		年度	農業	林業	水産業	新規需要米等	合計	H30	1,259	211	386	21	1,877	R元	1,195	211	413	17	1,836	R2	1,208	175	332	22	1,737	R3	1,228	245	362	25	1,860
年度	農業	林業	水産業	新規需要米等	合計																														
H30	1,259	211	386	21	1,877																														
R元	1,195	211	413	17	1,836																														
R2	1,208	175	332	22	1,737																														
R3	1,228	245	362	25	1,860																														
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農林水産物産出額（+382億円） ②経営継承の推進件数（+1,000件） ③集落営農組織カバー集落数（+119集落）			関連URL	https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryaku_kpi.html																														

※大分県、大分市、中津市、佐伯市、国東市、玖珠町の広域連携事業

事業概要【おおいたの未来を牽引する事業者育成体制整備事業】

推進当初

申請者	大分県ほか3自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	615,817千円（97,610千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・大分を牽引する企業の創出を図るため、事業開始初期での積極的なリソースの提供や経営者同士のネットワークの強化、新たなビジネスに挑戦する中小企業（経営革新認定）の育成及びデザイン経営等を通じた総合的な経営基盤の強化を図る ・スムーズな事業承継を実現し、県内企業の経営基盤を総合的に強化できる環境づくりを図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○中小企業等への経営支援機能強化 ・成長を志す意欲的な起業家が継続的に創出される体制の整備（委託料）18,340千円 ・創業・第二創業者への成長支援体制の整備（補助金）29,435千円 ・経営者同士のネットワーク形成による事業継続支援体制の整備（委託料）661千円 ・デザイン経営に向けた支援体制構築やクリエイター協働による事業化促進（委託料等）16,124千円 ・県内中小企業の後継者候補（アツギ）の新規事業開発の伴走支援（委託料）10,428千円 ・九州連携ベンチャー支援のためのマッチングイベントの開催支援（負担金）700千円 ・成長期スタートアップや第二創業企業への伴走支援（委託料）15,843千円 ○中小企業BCP策定支援 ・支援機関向けのワークショップ、策定支援・事例集作成（委託料）3,020千円 ○スムーズな事業承継が行われる体制整備 ・金融機関職員や士業等を対象とした研修会（委託料）1,272千円 ・民間M&A事業者の利用促進のセミナー・相談会の開催（委託料）1,787千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①経営革新計画終了企業の雇用増加数（+769人） ②事業承継相談対応件数（+250件） ③デザイン経営個別相談会の参加者（+900人）		
	関連URL	https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html	

※大分県、大分市、中津市、日田市の広域連携事業

事業概要【移住者によるデジタル地域づくりショーケース化推進事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	382,647千円 (53,730千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・移住者にとって魅力的なデジタル関連の働き口を増加させるためにデジタル関連事業を行う ・都市圏の概ね40歳未満かつ移住・転職希望者を主なターゲットとし、デジタルスキル習得講座を実施することで移住を促進する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1. デジタル関連事業ショーケース化推進 (1)DXを支える人材育成 ①デジタルモノづくり人材育成支援（委託料等） 2,195千円 (2)地域におけるデジタル化促進支援 ①地域運営組織等のデジタル技術活用促進（補助金等） 3,333千円 ②県内企業のデジタル技術活用の展開・推進（委託料等） 2,279千円 ③建設技術者等のデジタルスキル向上・ICT建機導入補助（補助金等） 22,402千円 ④大学等と企業・地域の出会いの場創出システム導入支援（補助金等） 800千円 ⑤飲食店等デジタルマーケティング活用支援（委託料） 3,461千円 (3)スマホを活用した県民の健康づくり喚起実証 ①健康管理アプリ運営費（委託料等） 5,180千円 2. 移住希望者を対象としたデジタルスキル習得講座 (1)スキルアップ移住講座の開講及びPR（委託料等） ①受講生募集のための都市圏でのPR費用 3,039千円 ②講座運営費用 11,041千円 デジタル関係事業 ショーケース化推進 移住希望者を対象とした デジタルスキル習得講座 雇用創出 人材育成 ～県外からの移住促進～		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタルスキルアップ講座の修了生で県内へ移住した人の数 (+120人) ②本事業によりデジタル化した事業数 (+18件)		関連URL https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html

事業概要【若者が安心して働ける環境づくり推進事業】

推進当初

申請者	大分県ほか6自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	794,101千円(124,683千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的(効果)	・福岡県を中心に若い世代の転出超過の傾向があるため、UIJターンの推進により県外からの人材の確保を図る ・大分県内大学生等の県内就職率が低い傾向があるため、県内就職・定着の促進を図る ・大分県の高校生の県内就職率が低い傾向があるため、高校生に対する県内就職対策を図るとともに、急速な変化の激しい時代を生き抜くため、未来を切り拓く力と意欲を身に付けさせる教育の推進を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○福岡県からの若者のUIJターンの促進 ・福岡での就職関連イベント企画実施(委託料等)32,698千円 ・Uターンイベントや情報発信等(委託料等)1,295千円 ○大分県内の大学生流出対策 ・県内就職情報発信WEB企画作成(委託料)7,242千円 ・学生コミュニティ形成(委託料)6,093千円 ・大学の魅力アップを図る課題解決支援(補助金)12,146千円 ・県内企業を知る接点づくり企画(委託料)4,567千円 ○高校生に対する県内就職対策及び地方創生を担う人材教育 ・高校生等向け合同企業説明会開催(委託料等)10,342千円 ・人材を育成するための研修実施(委託料等)13,337千円 ・就職サポーター配置にかかる経費(報酬等)21,395千円 ・地域・社会や産業界と連携した学習(使賃料等)1,882千円 ・全国募集を推進するための経費(使賃料等)11,024千円 ・探究活動の機会を提供する講座開設(委託料等)2,662千円  若者向けイベント(大分県拠点施設「dot.」)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内企業就職内定者数(+720人) ②福岡県内大学新卒県出身者の県内就職者数(+60人) ③新規高等学校卒業予定者の県内企業就職希望率(+2.6%)		関連URL https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html

※大分県、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、竹田市の広域連携事業

事業概要【祖母山麓エリア再生プロジェクト】

推進当初

申請者	大分県竹田市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	67,900千円 (6,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・祖母山麓のエリアブランディングとネットワーク形成を図る ・新たなターゲット層に向けたエリアとしての情報発信と情報発信人材の育成を図る ・域外人材と連携した、体験アクティビティ・ワーケーションプログラムなどのコンテンツ開発と人材育成を図る ・エリア戦略に基づく拠点施設の利活用・経営手法の検討		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○情報を集約したプラットフォームの構築 ・祖母山麓エリア専用WEBサイト等の運用・更新 【委託料（ソフト）：1,500千円】 ○祖母山麓エリア公共施設マネジメント支援 ・民間事業者との連携体制の構築支援、収益モデルの検討と提案、施設改修や備品整備などの建築家デザイナーを通じての見直し箇所のプロデュース、地元や関係団体への報告やミーティングなどによる情報共有など、公共施設の利活用の実践全般を専門的知見をもとに検討 【委託料（ソフト）：3,000千円】 ・宿泊施設「祖母山麓体験交流施設あ祖母学舎」改修に伴う設計【委託料（ハード）：1,500千円】 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業の拠点施設となる「祖母山麓体験交流施設あ祖母学舎」の年間利用者数（+350人） ②本事業におけるワーケーションやトレッキングコース整備などの関係人口創出のためのイベント等への参加者数（+150人） ③本事業におけるトレッキングガイド養成講座・市民ライター育成講座などの人材育成セミナーへの参加者数（+60人） ④専用WEBサイトへのアクセス数（+20,000アクセス）	関連URL	https://www.city.taketa.oita.jp/shiki/kikakujojohoka/chihousousei/4410.html https://sobosanroku.jp/

事業概要【地域のデジタルゼブラリレーション推進事業】

推進当初

申請者	大分県、国東市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	508,743千円（159,624千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・「社会課題の解決」と「持続的な経営」の両立を目指すゼブラ企業の発掘・誘引を図る ・ゼブラ企業の発掘・誘引により先端技術やデジタル技術を活用した持続可能な地域社会づくりを図る ・ゼブラ企業の行う新事業を効果的に実装することで、雇用創出や所得向上を図る ・ゼブラ企業の新たな産業創出により、SDGsの目標「持続可能な社会づくり」の実現を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【事業イメージ】 大分県・国東市 ↓ 支援・育成 ゼブラ企業 ↓ 実証・実装 「持続可能な社会づくり」の実現 ○企業のゼブラ事業への参入支援 ・地域課題解決型サービスモデルの創出・サービス化 補助金等51,682千円 ・先端技術を活用した防災システムのサービス化 委託費10,000千円 ・無人機を活用した地域・社会課題解決企業の実証支援 負担金15,000千円 ○住民生活の利便性向上につながる 新たな生活関連サービスの事業化支援 ・地域運航事業者による民間サービス化に向けた拠点間配送（買物弱者支援等） 委託費等22,166千円 ○新技術活用のための基盤づくり ・機体認証制度でのドローン性能評価装置の活用実証 委託費18,000千円 ・施設管理分野での自動走行ロボットの活用実証 委託費等8,016千円 ・土木分野における新技術活用人材の確保に向けた人材の育成（国東市） 負担金 7,000千円 ・ドローンビジネスのプラットフォームの充実 補助金等15,016千円 ・改正航空法による市場拡大を見据えたドローンサービス企業の育成・支援等 負担金 12,744千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ゼブラ企業と連携した事業創出件数（+104件） ②地域サービス化件数（+79件）	関連URL	https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html

事業概要【大分県観光におけるD X推進事業】

推進当初

申請者	大分県、日田市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	553,688千円 (191,883千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	観光産業におけるデジタルの有効活用を推進し、経済波及効果の大きい産業の裾野を更に広げ、県内消費額の増加と新たな雇用の創出に貢献する。また、観光産業のデジタル化推進においては、誰も取り残さない、誰もが活用できるD Xを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	- 観光事業者のデジタル活用促進 観光統計プラットフォームの導入、宿泊事業者のデジタル導入・活用支援、デジタル人材の確保・育成 (委託料等) 8,083千円 - デジタルマーケティングの推進 ①情報収集、分析 (委託料等) 24,805千円 ②情報発信 (委託料) 127,362千円 ③マーケティング人材の確保・知見の共有 (委託料等) 24,946千円 ④日田市事業 (委託料) 6,687千円		 宿泊事業者のDX推進(自動精算システムの導入)
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内宿泊者数 (+4,330千人) ②観光統計プラットフォーム利用登録施設数 (+290施設) ③・デジタルの導入・活用による経営革新・観光サービスの向上等を行った事業数 (+48件)		関連URL https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html

事業概要【県産加工品の販路拡大に向けたトータルサポート事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	152,109千円 (54,443千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・食品製造業の課題である付加価値額の低さを解決し、稼ぐ産業に成長させていくためには、地域資源を活用した高付加価値食品の域外展開を販売及び品質管理の両面から支援しレベルアップしていくことが求められている。 当該事業により、販路拡大に向けた川上から川下までをトータルで一体的に支援し、食品企業の売上、利益向上に資する。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○様々な手法による商談機会の創出及びオンライン商談の活用推進 (1)デジタル等の手法による商談（委託料等）6,413千円 (2)Webマーケティングによる企業間取引の拡大支援（負担金）6,257千円 ○県産品のさらなる認知度向上と販路拡大 (1)量販店等における大分県フェアの開催（委託料等）272千円 (2)出張坐来等による県産品の認知度向上（委託料等）1,382千円 (3)県産酒の商品認知度向上（委託料）4,818千円 (4)おおいた応援店のさらなる拡大（委託料等）5,030千円 (5)ECの活用による販路拡大（費用弁償等）300千円 (6)県産品の商品力向上（委託料）3,628千円 ○消費者の期待する食の安全安心をサポートする体制構築 (1)食品事業者の衛生水準底上げ訪問アドバイス（消耗品費、委託料等）17,489千円 (2)新規参入事業者における衛生管理計画作成セミナーの開催（委託料、使用料等）6,821千円 (3)コンサル派遣による認証取得の促進（委託料等）2,033千円    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①食品出荷額（+195億円） ②オンライン商談会における商談成約数（+31件）	関連URL	https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html

申請者	大分県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	309,148千円(126,461千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	人口減少に歯止めがかからない中、進学や就職を契機とした若者の県外流出が、本県の社会減の主な要因となっている。このため、企業や教育機関等と連携した若者等の地元定着に向けた取組や技能実習生等が県内に留まるための支援強化を行い、若者や外国人材の定着支援の加速を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若者人材の育成・定着に向けた取組 ・若者人材定着支援及び人材確保支援（委託料：42,627千円） ・地域を支える福祉人材育成（委託料：2,460千円） ○留学生等の県内定着支援及び外国人労働者の受入れ環境の整備 ・外国人留学生向け県内定着支援（委託料：34,116千円） ・ASEAN人材交流拠点構築に向けた取組（委託料：1,557千円） ・外国人労働者の雇用促進に向けた取組（委託料：45,701千円）		 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた若者の県内企業就職者数（+60人） ②県内外国人労働者数（+775人） ③県内の企業や事業者等の新規開拓による留学生採用数（+35人） ④福祉系高校における福祉系就職・進学率（+3.5%）		関連URL https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html

事業概要【安定的な観光産業の振興に向けた誘客強化事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	361,407千円 (119,069千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・コアなファン作り、滞在時間の延長や1人あたり観光消費額の向上につながる観光コンテンツの強化を図る。 ・コアなファン作り、滞在時間の延長や1人あたり観光消費額の増加につながる誘客を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○コアなファン作り、滞在時間の延長や1人あたり観光消費額の増加につながる主要コンテンツの強化・受入環境の整備 ・観光コンテンツの強化 (委託料2,000千円) ・多言語コールセンターの設置 (委託料6,973千円) ○コアなファン作り、滞在時間の延長や1人あたり観光消費額の増加につながる誘客・情報発信 ・観光コンテンツ等を活用した商談会の実施 (委託料13,560千円) ・各県域ごとのターゲットに応じた誘客・情報発信 (委託料74,532千円) ・教育旅行・MICE誘致に向けた情報発信 (委託料5,122千円) ・HP・SNS等を活用した旅ナカでの情報発信 (委託料16,882千円)  農業体験(イメージ)  おんせん県おおいたツーリズム商談会(R5)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①1人あたり観光消費額 (+6,400円) ②観光コンテンツの造成数 (+36個) ③観光コンテンツを含んだ周遊ルートの作成 (+18ルート)	関連URL	https://www.pref.oita.jp/sos/hiki/10112/sennryakukpi.html

事業概要【関係人口創出事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	269,062千円 (90,018千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・本事業で①創出したプロジェクト、②構築した人的ネットワーク、③特産品の購買やSNS発信、④県内のまちづくり人材との協働などを通して、継続的な関係人口及び新たな賑わい創出、さらに空き家の流通促進による地域活力の創出を図る。そして、将来は「定住人口」の増加による転出・転入の均衡を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①関係人口拡大につながる取組の創出 ・関係人口を生み出すプログラムの開催 17,046千円 ②おんせん県おおいたの魅力情報発信による関係人口の掘り起し ・県外居住者を対象とした「温泉+α」の魅力発信 36,312千円 ③県内関係人口の創出及び交流拠点や団体等の整備・支援 ・「まちづくり」人材研修実施 6,528千円 ・地域商業活性化につながる事業への支援5,000千円 ・地域商業活性化につながるハード事業への支援3,000千円 ④空き家関連情報の効果的な周知 ・啓発ハンドブックやSNSを活用した広報及び相談窓口の設置 - 事業委託料 22,132千円  関係人口を生み出すプログラムの様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業後も継続的な関わりを持つ参加者数 (+54人) ②本事業を通じたおおいた暮らし倶楽部への登録者数 (+80人) ③県外向け情報発信ウェブサイト閲覧数 (+300,000PV) ④人材育成研修アンケート結果満足度 (+12ポイント) 関連URL 関係人口拡大 https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/yuwaeba-oita2.html 魅力発信https://edit.pref.oita.jp/ まちづくり人材研修 https://www.pref.oita.jp/soshiki/14300/kogigaku.html 空家情報 https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/oita-akiya-soudansien.html		

事業概要【新規就農者拡大！！プラットフォーム構築事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	75,951千円 (22,722千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・都市部等からの移住者を呼び込み、本県へ新規就農するための環境を整備する ・移住者及び新規就農者数の拡大傾向を維持するため、新規就農希望者や参入希望企業等に向けた情報発信を行う ・移住から定住へ移行するための体制を構築する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	大分県 情報発信 農業参入を希望する企業 移住希望者 農業に興味がある層 大分県への新規参入 大分県への移住 新規就農 (自営・親元・雇用) 充実したコンテンツ ○女性就農者を確保しやすい環境づくり ・女性対象の営農体験や意見交換会の開催など就農に向けた伴走支援の実施（委託料：5,768千円） ○企業の農業参入推進 ・セミナーの開催や誘致候補企業のリスト化により大分県への農業企業誘致を推進する（委託料等：10,354千円） ○新規就農者等確保に向けた情報発信 ・雇用就農者向けコンテンツを含めた県農林水産業の魅力発信の強化を行うことにより、就農者の確保を図る（委託料：6,600千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規就農者数（+398人） ②農業参入企業件数（+100社）	関連URL	https://www.pref.oita.jp/site/sannyu/

事業概要【戸次本町地区にぎわい創出事業】

推進当初

申請者	大分県大分市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	22,300千円 (4,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・戸次本町に現存する江戸時代末期から戦前にかけて建築された歴史的建造物の観光資源や地元の食材、郷土料理等を活かした食観光の推進を図る。 ・歴史的なつながりをもつ地域との広域的な交流を行う中で、歴史的まちなみの利活用を図る。 ・新たな魅力の創出やまちづくりの担い手の確保による持続可能なにぎわいあるまちづくりを目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○プロジェクトチームが企画立案したイベント等取組みへの支援 ・プロジェクトチームの活動支援（補助金）：2,000千円 ○地域のまちづくりへの意識向上に向けた研修の開催 ・まちづくりマネジメント支援業務委託（委託料）：1,500千円 ○歴史や特産物が共通する都市と連携して行うイベントの開催や情報発信 ・イベント開催等（委託料）：600千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①まちづくり人材育成数（+15人） ②既存施設利用件数（+18件） ③空き家・空き店舗への出店数（+5件）		関連URL https://www.city.oita.oita.jp/o011/shisejoho/kekakuzaise/gyokaku20231129.html

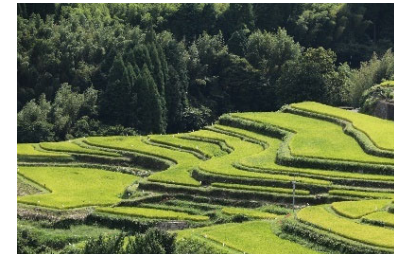
事業概要【文化観光の推進とアーティスト・クリエイター移住・定住計画】

推進当初

申請者	大分県別府市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	152,668千円 (92,396千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・アーティストやクリエイターの力を活用し、全国的に類を見ない特徴を持ったエリアとしてブランドロイヤルティを醸成する ・醸成されたブランドロイヤルティを国内はもとより国外へ発信し、世界中の人々に文化芸術のまちとして、別府市を認識させる ・別府市を文化芸術のまちとして認識させることで、交流・関係人口が増加することを狙い、さらに、それらに触発された若年層や子育て世代等の移住人口の増加に繋げることを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇アーティスト・クリエイター創作等施設設置事業 ・施設整備（改装等）（補助金）20,000千円 〇芸術・文化情報等の情報発信業務や観光客及び移住希望者に向けた情報提供 ・情報発信、移住者相談、HP運営管理（委託料）12,996千円 〇アーティスト・クリエイターによる別府の魅力発信活動補助事業 ・事業の企画及び実施（委託料）10,800千円 〇アーティスト・クリエイター育成事業 ・事業の企画及び実施（委託料）1,200千円 〇アーティスト・クリエイターと事業者とのマッチング等事業 ・事業の企画及び実施（委託料）1,200千円 大手メディアから情報発信／派生した新たなサービスが呼び水になる 文化系メディアのSNSから情報発信 関係者からの口コミや直接周知 第三ターゲット＝高アンテナ層 アートファン（ライト層） 第二ターゲット＝インフルエンサー アート愛好家（コレクター含む） 第一ターゲット アーティスト・クリエイター 移住する 市内全域 別府市民・市内の企業が利益を享受		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①アーティストやクリエイターの移住に関する相談件数（+160件） ②アーティストやクリエイターの移住者数（+80人） ③ベップ・アート・マンズの参加者数（+10,000人） ④アーティストやクリエイターと協働して生まれた新規商品・サービス件数（+40件）	関連URL	https://www.city.beppu.oita.jp/sei/kakusyuokeikaku/chiikisaisei.html

事業概要【持続可能な温泉観光都市への挑戦】

推進当初

申請者	大分県別府市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	106,380千円 (38,710千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・産業間の連携による別府観光の魅力向上を通じた観光産業の稼ぐ力の向上 ・ユニバーサルツーリズムの普及や温泉入浴効果の検証及び湯治文化の浸透により、平均宿泊数の増を目指す ・農業の活性化につなげ、域内経済循環の向上を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○誰もが思いっきり別府を楽しむことができる「べっぴユニバーサルツーリズム」の実現を目指す ・ユニバーサルツーリズム推進事業（補助金）4,500千円 ○温泉の効果科学的に検証し、発信する ・別府ONSENアカデミア開催経費（負担金）10,000千円 ○観光ウェブサイト等コンテンツ整備及びデジタルマーケティングの実施 ・ウェブサイト更新・WEB広告・レポート料（委託料）15,950千円 ○農産物生産者と宿泊・飲食事業者をつなぐプラットフォームの創設 ・会場等使用料（使用料）260千円 ・システム導入関連費用（委託料）3,000千円 ○産業連関構造等の調査や分析等を実施 ・調査及び勉強会開催経費（委託料）5,000千円    		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宿泊客の平均宿泊数（+0.05泊） ②別府・大分バリアフリーツアーセンターにおけるバリアフリーツアー相談件数（+168件） ③別府市観光ウェブサイトアクセス数（+264,716PV） ④ウェルネスツーリズム関連旅行商品の商品化数（+2件）	関連URL	https://www.city.beppu.oita.jp/

申請者	大分県別府市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	88,390千円 (24,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・「中規模多機能自治組織（ひとまもり・まちまもり協議会）」を地域運営組織として、従来の小学校区を単位とする自治の範囲を中学校区に広げ、人材確保や運営基盤の拡大を図る ・こどもの居場所づくりや地域の安全・安心を守る事業、地域内で高齢者を支える地域包括支援事業、地域の固有の歴史・伝統・文化の継承、保存活用事業などに加え、自立・自走する組織へ発展させ、稼げる事業への転換や地域の魅力を向上・発信を行う ・人材や拠点を確保して、産業・歴史・伝統・文化などの資源を徹底的に磨くことで、これまでいかされていない地域資源を高付加価値化し、中間支援組織、企業などと「稼ぐ」力を創出し、持続可能で自立・自走する新たな自治のかたちに昇華していく		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〔1〕地域の担い手育成事業 5,950千円 地域の担い手を育成するため研修会や交流会、コーディネーター配置のため経費 ・ひとまもり・まちまもり人材育成支援補助金（7圏域） 5,950千円 〔2〕ひとまもり・まちまもり事業 12,050千円 ひとまもり・まちまもり協議会が実施する地域課題の解決のための事業費 ・ひとまもり・まちまもり事業支援補助金（7圏域） 12,050千円 ①地域課題事業費分 10,600千円（人口規模により差） ②デジタル推進事業費分 1,450千円（290千円×5圏域） 〔3〕コミュニティ事業 6,000千円（委託料） ・地域の路地裏散策などの観光案内・交流の経費		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ひとまもり・まちまもり協議会交流事業参加者数（+2,799人） ②ひとまもり・まちまもり協議会交流事業実施数（+18事業） ③移住に関する相談件数（+228件） ④BEPPUサポーターズのメンバー数（+150人）	関連URL	https://www.city.beppu.oita.jp/sisei/kakusyukeikaku/chiikisaisai.html



事業概要【日本遺産「やばけい遊覧」推進事業】

推進当初

申請者	大分県中津市、玖珠町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	11,373千円 (3,791千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	- 日本遺産を活用した魅力ある体験型観光の導入により、観光客数の増、滞在時間の増につなげ、住民・事業者の収益向上、産業確立を目指す。 - 観光資源の掘り起こしにより、今まで表に出ていなかった地域の魅力の再発見。 - 地域住民、事業者主体の活動により、ノウハウ向上、組織力向上等による人材育成。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	中津玖珠日本遺産推進協議会が中心となって実施する以下の事業に要する経費に対して、中津市及び玖珠町から補助金を交付する。 ○「やばけい博覧会」開催事業 ○日本遺産「やばけい遊覧」魅力発信・受入態勢整備事業 中津玖珠日本遺産推進協議会補助金 3,791千円 (中津市3,222千円、玖珠町569千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①中津市と玖珠町の観光客数 (中津市の観光入込客数+玖珠町の観光施設の利用者数) (+1,467.66千人) ②「やばけい博覧会」を中心とした日本遺産事業の参加者数 (+150人)	関連URL	(事業内容) https://yabakei-yuran.jp/ (効果検証) https://www.city-nakatsu.jp/doc/2017030100042/

申請者	大分県中津市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	169,652千円 (49,178千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・地域住民のシビックプライド、郷土愛の醸成 ・福澤諭吉の故郷としての中津市の全国的な認知度向上 ・歴史文化や観光などの資源のさらなるブラッシュアップ ・福澤諭吉の教えを引き継ぐグローバルな人材育成		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○情報発信による認知度向上 ・情報発信・誘客事業 (委託料、印刷製本費、謝礼金、使用料等) 6,956千円 ○集客力向上と城下町エリアの周遊につながるコンテンツの提供 (委託料、報償費、謝礼金、補助金、広告費、使用料、その他需用費等) ・受入態勢の整備 5,154千円 ・地域素材磨き 11,800千円 (うちハード事業 7,000千円) ・イベント実施事業 2,675千円 ○小中学校のふるさと教育の推進、福澤諭吉の教えを引き継ぐグローバルな人材育成 ・企画展や講座等の開催 (委託料、講師への報償費、費用弁償等) 17,942千円 ・女性起業家支援事業 (委託料、補助金) 4,651千円 (うちハード事業 2,000千円) ありがとう、福澤諭吉先生！ Thank you, Mr. Yukichi Fukuzawa! 『不滅の福澤プロジェクト』 1.プロジェクト目的 福澤諭吉先生の故郷“中津”を全国に発信することで、中津市民のシビックプライド(都市に対する市民の誇り)を醸成し、先生の思想を後世に語り継ぐ契機とする 若者をはじめとした多くの人々に福澤諭吉先生の教えを伝え、実社会を生きていくうえでの指針にしてもらうことで、グローバル時代にあらゆる場面で活躍する人材育成につなげていく 本プロジェクトにご協力いただく構成団体をはじめとした多くの皆様と福澤諭吉先生を中心としたネットワークを構築することで、故郷の偉人「福澤諭吉」を末永く後世に伝える基盤を構築する  昭和59(1984)年11月1日から“客万円札”の顔となりました。史上最長の40年にわたって客万円札の肖像として活躍された福澤先生を、2024年の肖像交代に向けて“オールなかつ”で重点的に顕彰します。肖像が交代しても、福澤先生の偉業を末永く後世に伝えていきます。 ※「オールなかつ」：中津市内の団体・個人だけでなく中津に縁のある方々、団体等幅広くネットワークを組むこと。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①城下町エリアの観光入込客数 (+56,800人) ②福澤諭吉旧居・記念館の入館者数 (+20,000人)	関連URL	(プロジェクト実施内容) https://fukuzawa-project.com/ (効果検証) https://www.city-nakatsu.jp/doc/2017030100042/

事業概要【ふるさと再発見！宇佐を学ぶ未来2050プロジェクト】

推進当初

申請者	大分県宇佐市、大分県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	158,563千円（49,960千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・宇佐の「歴史・文化・芸術・産業・未来」をテーマに魅力的な地域をつくる ・デジタル技術を活用した学習や体験を通じて、子どもたちの地域学習意欲等を向上させる仕組みを構築する ・宇佐の将来を担う人材と郷土への愛着や誇りを育む礎を築く ・魅力的な地域づくりと地方創生を進め、「将来にわたって、みんなが幸せに暮らせるまちづくり」を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○宇佐学者養成講座DX 5,394千円 地域学習にデジタル技術等を応用し、STEAM人材の育成に使用する。大学等と連携し、史資料の3Dモデル等を活用した体験型ワークショップを開催し、郷土の歴史等への関心を高め、将来の宇佐を担う人材の育成に寄与する。 ○3WAYツーリズム活動促進事業（平和ツーリズム）12,148千円 平和ツーリズムの推進に向けて、効果的なプロモーションを展開するとともに、ガイドの養成や市民団体の育成など、受け入れ体制の強化を図っていく。  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①・・・宇佐市公式LINEアカウント 友だち登録者数(+6,000人) ②・・・出前講座等の参加者数(+800人) ③・・・宇佐市HPへのアクセス数(+18,000件) ④・・・文化財関連施設の入館者数(+1,000人)	関連URL	調整中

事業概要【人が技術が仕事が集まる！まわる！3つのバンクでローカルイノベーション】

推進当初

申請者	大分県宇佐市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	105,251千円 (33,208千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・企業は生産性の向上・魅力ある商品の開発・優秀な人材の確保を行い、発展した企業へと成長 ・個人は住む場所・働く時間・やりがい等一人ひとりが求めるものを得られる働き方が選択可能 ・企業・個人両者がWIN-WINとなるために、両者の経営資源を集積・育成し、マッチングさせ、新たな価値を生み出し、域内の経済循環を高める。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○人材・スキルバンク 15,512千円 ・支援員配置及び各種支援（委託料4,855千円） ・移住希望者支援（委託料9,000千円） ○企業バンク 9,205千円 ・ICT利活用実証実験プロジェクト事業（補助金1,200千円） ・販路開拓や設備導入促進（補助金3,250千円） ・小規模チャレンジ活動支援（委託1,646千円、補助1,200千円） ○イノベーションバンク 2,539千円 ・イノベーションバンク設立・育成（委託料2,027千円） ○USA-biz.によるマッチング 5,952千円 ・マッチング支援員配置（委託料2,242千円） ・ICTを活用した企業説明会や見学会の開催（委託料3,710千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①宇佐市地域雇用創造協議会に登録している市内企業に就職した人の数（+135人） ②人材スキルバンクの登録者数（+90人） ③本事業の支援を受けて、ICTの導入等の新たな利活用を始めた事業者の数（+32者） ④本事業の支援を受けて、事業承継計画書を作成した事業者の数（+20者）	関連URL	調整中



事業概要【都市と豊後大野をつなぐプラットフォーム構築事業】

推進当初

申請者	大分県豊後大野市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	127,618千円 (33,262千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・二拠点居住や多拠点居住を推進することで新たなひとの流れを創出し、市外からの人を受け入れることで、移住者の確保及び地域活動を活性化する ・テレワーク推進と交流促進事業により整備した拠点施設において、関係人口の創出・拡大と地方におけるテレワークの浸透や新たなスキルやノウハウを有する人材の確保を図る ・創業・起業希望者に継続したきめ細かな支援を行い、地域資源の有効活用による、若者や女性、移住希望者等の就労ニーズに対応した、新たな事業創出等を行う		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○テレワーク推進及び交流促進事業 ・施設運営委託(委託料)19,600千円 ○出身者向け地域情報発信、制度の定着化、出身者等応援制度登録者の拡大及び地域との交流促進 ・From豊後大野協働事業(補助金)500千円 ・専用サイト管理(委託料)1,162千円 ○起業創業支援セミナーの実施、地域課題解決型起業の創出・拡大等 ・起業型地方創生人材育成事業(委託料) 10,400千円 ・共創型地域連携事業(補助金) 600千円 ・起業創業に係る設備導入(補助金) 1,000千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業における新規事業創出数（新規起業数＋新規事業数）・・・（＋29件） ②本事業で行うイベント・セミナー等の参加者数・・・（＋500人） ③本事業で行う起業・創業等の相談件数・・・（＋520件） ④豊後大野市出身者・他出身による地域応援制度サイト登録者数・・・（＋250人）	関連URL	https://www.bungo-ohno.jp/docs/2023010400019/

事業概要【鶴川商店街周辺観光拠点推進プロジェクト】

推進当初

申請者	大分県国東市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	139,161千円 (42,124千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・大分空港から北に人を呼び込むための拠点に、情報発信機能の充実を図る ・商店街に点在する空き店舗等を活用して、新たな魅力の創造を図る ・アートと文化を軸に、「国東市ならではの」ほかでは味わえない体験型プログラムに磨き上げる ・少量多品目の特性を生かし、「人の顔が見える」食材ブランディングの確立を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○鶴川商店街観光拠点化構想事業 ・観光情報発信機能の充実と自走に向けた体制の整備 ・商店街周辺事業者と連携した周辺地域で利用できる第三次交通手段のレンタルサービスの導入 (委託料7,000千円) ・拠点施設の空調及び外構工事 (工事費11,917千円) ・チャレンジショップ備品整備 (備品購入費 207千円) ○鶴川商店街周辺環境活性化構想事業 ・アートや文化を軸とした商店街の賑わい作り ・10年後「30の繁盛事業」を見据えた地域の魅力づくり (委託料6,000千円) ○スローツーリズム構想事業 ・アートを軸に3密を避けた滞在型プログラムの開発 (委託料9,000千円) ○地場商品×地域資源による商品開発・特産ブランド開発 ・地域資源を活用した新商品開発 (お土産品など) ・地域資源に関する市民への関心(愛着)の促進 (委託料8,000千円) 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数 (+459千人) ②宇宙港や現代アート関連商品・特産品の売上額 (+19,700,000円) ③観光拠点施設来場者数 (+78,000人) ④鶴川商店街内の空き店舗解消数 (+19店)	関連URL	(交付金の具体的な使途・実施体制) https://www.city.kunisaki.oita.jp/sos/hiki/shinko/tsurugawa-kyoten.html (効果検証) 調整中

事業概要【エニワン・ウェルカム・タウン推進事業】

推進当初

申請者	大分県日出町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	108,400千円 (33,100千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・第1次産業や地場企業の生産活動を支援し、人口減少対策につなげる ・ハローキティの魅力を活かし、オリジナル情報誌等によるプロモーション展開で観光誘客促進を図る ・本町の魅力を全国にWEB等で情報発信することで、関係人口等を創出し、将来的な移住誘因を生み出す ・住まいの選択肢を増やすための伴走支援体制を強化し、移住の促進を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	●多様な生活課題に寄り添う移住相談窓口運営 ・移住定住マルチアテンダント人件費（報酬）4,345千円 ●SNSやWEB等の多様な媒体を活用した情報発信 ・情報素材製作・業務支援料（委託料）16,500千円 ●「小さなしごと」の組み合わせによる半農×半Mixworks型雇用モデルのパッケージ化 ・第1次産業、小規模法人等に潜在する最低賃金に満たない「小さなしごと」を掘り起こし、年間を通して安定して働ける「しごとパッケージ」の創出（委託料）2,200千円 ●サンリオとコラボして移住誘導ノベルティグッズの開発 ・ノベルティグッズ開発及び試作経費（委託料）1,100千円		 「ひじ」で働いてみませんか！
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①小さなしごとの掘り起こし件数（+30件） ②掘り起こした小さなしごとの就労マッチング件数（+40件） ③移住情報サイトアクセス数（+70,000PV） ④空き家バンク成件件数（+6件）		関連URL https://www.town.hiji.lg.jp/gyosei-joho/keikaku_hokoku/sogosenryaku_chihososei/535.html

事業概要【大分県農業構造改革・成長産業化事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	423,474千円 (161,299千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・集落営農組織等の収益構造の改革や大規模経営体による連携統合を支援して、持続可能な中山間地農業の確立を図る ・産地と食品企業が連携する取組を支援して、加工業務用産地の拡大を図る ・販売戦略の再構築とブランディングを伴う販売促進を支援して、大分県の推進する園芸品目の消費拡大を図る ・おおいた和牛の流通拡大や認知度向上を推進し、おおいた和牛の消費拡大を図る		
事業概要・ 主な経費	○中山間地営農における人材確保や園芸品目等への転換、組織間の連携・統合などを支援 ・マネジメント人材及びオペレーターの確保（補助金） 30,639千円 ・園芸品目導入のリスク軽減（補助金） 12,000千円 ・条件不利農地の粗放的管理実証（補助金） 500千円 ・機械・施設整備（補助金） 54,000千円 ○農業における外国人材の受入れ・定着に対する支援 ・就業環境整備・初期費用支援（補助金） 4,500千円 ○企業のニーズに対する産地の品目導入や栽培面積拡大を支援 ・栽培技術研鑽に向けた研修会開催（報償費、旅費） 107千円 ・トライアル試験ほ設置支援（報償費、旅費等） 1,353千円 ・新たな栽培及び機械化体系実証支援（補助金） 11,000千円 ・機械等導入支援（補助金） 12,000千円 ○大分県の推進する園芸品目の戦略的な販売促進活動の支援 ・販売促進対策支援（補助金） 25,000千円 ○おおいた和牛キャンペーンの実施等によるP R ・キャンペーン実施等経費（委託料） 10,200千円		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①経営多角化した法人数（+12組織） ②加工業務用農産物栽培面積（+72ha） ③おおいた和牛取扱い店舗数（+45店舗）		



事業概要【「え？」が「お！」につながるDX推進事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	436,845千円 (75,452千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・県内事業者がDXによる生産性向上や付加価値向上を図るための支援や環境整備を行う。 ・中小企業のデータ活用を伴走支援し経営の高度化を後押しするとともに支援者の育成を行う。 ・自治体の持つ防災や文化財などのデータを活用したユースケース創出を図る。 ・次世代人材やデジタルデバイド対策のための支援員の育成などDXに必要な人材育成を行う。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○県内中小企業のデータ経営の推進 ・伴走指導による支援者育成 (委託料) 13,332千円 ・企業向け交流会等の開催や事例集作成 (委託料) 6,130千円 ・モデル事例等の情報発信 (委託料) 3,453千円 ○DXを支えるデータ利活用の推進 ・文化財のデータ化及び展示会等の開催 (委託料) 31,998千円 ・防災データ等を活用したユースケース創出 (委託料) 9,960千円 ・オープンデータの普及啓発等 (委託費等) 2,990千円 ○DXを支える人材育成 ・高校生などの次世代人材の育成 (委託料) 5,014千円 ・支援員の育成によるデジタルデバイド対策等 (委託料等) 2,575千円	大分県DX推進戦略 (R4年3月策定) に基づき実施 (以下は大分県のDX体系図) 暮らしのDX 産業のDX 行政のDX DXの推進基盤	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県内事業者へ横展開したDXモデル事例数 (+30件) ②DXに取り組むことを宣言する県内事業者数 (+60件) ③データ利活用により創出されたサービス件数 (+6件)	関連URL	(大分県のDX推進戦略) https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html

事業概要【働くに着目した大分県移住定住促進事業】

推進当初

申請者	大分県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	284,269千円 (107,880千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・都市圏からの移住者を確保するため、仕事や収入の面でのニーズに応えられる環境を整備する ・「転職なき移住」の推進のため、企業との連携およびその従業員との交流促進を行う ・若年女性等の流出に対して、どのようなキャリアを実現できるのかといった、給与だけではない価値を提供する ・移住前のフォロー体制の整備を行うことで、移住に向けての疑問や不安を解消し、移住実現を後押しする		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	企業との連携による 転職なき移住の推進 モニターツアーの実施 情報発信の強化 フォロー体制の整備 転職なき移住 の推進 若年女性の移住転職支援 20代・30代の 転職・企業紹介・起業 を完全サポート！ 若年者雇用の 創出 ～県外からの移住促進～		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 本事業を通じたおおいた暮らし倶楽部への登録者数 (+80人) ② 県外向け情報発信ウェブサイト閲覧数 (+1,800,000pv) ③ 転職なき移住が可能な企業の相談件数 (+29件) ④ キャリアアドバイザーへの相談件数 (+170件)		
	関連URL	https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html	

申請者	大分県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	423,670千円 (108,699千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	- ものづくり企業へのリスキングによる技術人材の育成と、多様な人材確保および人材配置の最適化を図る - SaaSツール導入支援などデジタル人材の育成と、デジタルツールの活用による事業者の課題解決を図る - AIに関する知識の取得からAIプロジェクト創出までの一貫支援と、AIに携わるプレイヤー育成を図る - 高い専門知識と経験に基づく副業人材 (外部人材) との共創による、官民共同事業の設計を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○評価・解析スキル取得のための、技術者向けリスキング研修 ・業種別専門プログラム研修 (4プログラム委託費) 8,505千円 ・外部講師招聘 (謝金・旅費) 2,124千円 ○事業者向けデジタルスキル向上セミナーとSaaSツール導入支援 ・セミナー運営費・人材育成講師派遣等 (委託費) 21,929千円 ・SaaSツール使用料補助 (補助金) 22,500千円 ○AI活用事業者の調査およびセミナー開催と専門家 (ビジネスプロデューサー (BP)) 等によるAIプロジェクト創出支援 ・AI活用に向けた普及啓発セミナー (委託費) 10,045千円 ・AIプロジェクト創出BP活動費等 (委託費) 32,487千円 ○副業人材 (外部人材) 活用 ・人件費等 11,109千円 しごと創出 ローカルイノベーション モノづくり 新製品開発 プロジェクト創出 ヒトづくり ビジネス変革に 適応する人材創出 コトづくり 共同研究等 異業種連携 県内事業者 リスキング支援 1.人材育成 ・デジタルスキル ・研究開発人材 ・AIプレイヤー 2.DX推進 ・デジタルツール (SaaSツール等) ・生産性向上 3.AI活用 ・先端技術活用 セミナー ・専門家の派遣		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①人材育成した事業者数 (+560社) ②県内外、異分野企業との連携・提携件数 (+60件) ③先端技術新規プロジェクト創出件数 (+30件)	関連URL	https://www.pref.oita.jp/soshiki/10111/

申請者	大分県大分市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	145,493千円（69,407千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	若者（おおよそ29歳以下）をターゲットに、本市での創業支援をワンストップで行うとともに、近隣にある大学等と連携し、戦略的に事業展開をすることで、起業を通じて稼ぐ力を養い、市外への人口流出を抑えると同時に、新たな雇用を創出する。		
事業概要・ 主な経費	○29歳以下の若者を対象とした、起業に必要な知識の習得や起業を身近に感じてもらうためのセミナーの開催 ・会場設営・運営費：1,568千円 ・講師報酬及び招聘旅費：935千円 ○大分都市広域圏に居住または通学する学生を対象としたビジネスプランコンテストの開催 ・審査員報酬・交通費：594千円 ・会場設営・運営費：407千円 ・ブラッシュアップ講座開催費：501千円 ○起業を志す若者が同世代での情報交換や、経営者や投資家とのマッチングができる場として『若手起業家育成施設』を開設 ・物件賃貸初期費用：4,941千円 ・物件家賃：11,220千円 ・カフェ運営費：11,770千円 ・講師・専門家派遣費：792千円 ・自主事業費（ピッチイベント等）：2,640千円 ・設計・デザイン・内装工事費：25,520千円 ○専門的アドバイザーの事業コーディネート業務委託：286千円 ○その他（広告宣伝費等）：8,233千円		
KPI	①市内創業支援機関等の支援による若年層の創業割合（+0.9%） ②若年層の創業相談件数（+30件） ③若手起業家育成施設の利用者数（+3,700人）	関連URL	https://www.city.oita.oita.jp/o011/shisejoho/kekakuzaise/gyokaku20231129.html

※経費内訳はR6年度事業費



起業セミナー



ビジネスプランコンテスト



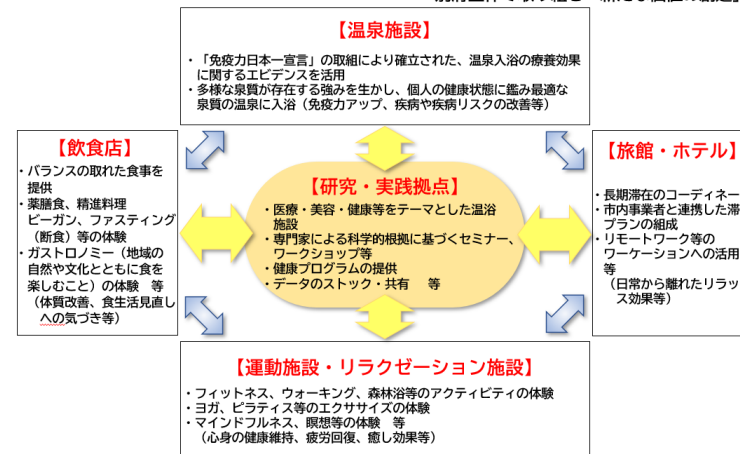
若手起業家育成施設

推進当初

33

申請者	大分県別府市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	264,253千円 (112,837千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・温泉効果に対する検証で得たデータを科学的根拠として活用し、観光客・市民に対して、「医療・美容・健康」に特化した新たな価値を付加し、特別なことが別府でできるという「コト」を主眼とした「古く新しい観光のかたち（新湯治・ウェルネスツーリズム）」を推進していく ・働き方改革の進展による休暇の多様化や回復が見込まれるインバウンドのニーズに応えることにより、新たな観光客（ウェルネストラベラー）の取り込みや長期滞在旅行の促進、リピーターの獲得を図っていく ・従来型の別府観光に新たな価値を付加して、市内事業者への経済波及効果を生み出す新たな「エコシステム」を構築し、稼ぐ力の向上やブランド力の創造により、市民の幸福（Well-being）を追求する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【1】「医療・美容・健康」プログラム事業 59,107千円 (1) 健幸のまちべっぴ事業 48,728千円 ①民間企業とのコラボレーション企画として健康データを取得・分析し、結果を見える化した健康プログラム組成・実施 ②健康プログラムに沿って市内全域で健康教室・体操など地域通いの場の提供 (2) リゾート産後ケア事業 10,379千円 産後うつ防止や育児不安や疲労の解消のため、温泉×リゾートによる高級志向の産後ケアを提案し、誘客を図る。 【2】新湯治・ウェルネス別府発信事業 15,000千円 (1) ウェルネスプロモーション・情報発信事業 15,000千円 公民連携によるウェルネスツーリズムのプロモーション、関連イベント企画費など		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額 (+5,194百万円) ②平均宿泊者数 (+0.04日1人) ③別府市観光ウェブサイトアクセス数 (+264,716PV)	関連URL	https://www.city.beppu.oita.jp/sisei/kakusyukeikaku/chiikisais ei.html

研究・実践拠点をコアとして、市内事業者のポテンシャルを活かした連携により別府全体で取り組む「新たな価値の創造」



事業概要【中津市人材リテンションプログラム】

推進当初

申請者	大分県中津市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	24,876千円（9,024千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	市内企業・産業の人手不足の解消、若者の地元就職の促進 ・低年齢層からの市内産業・企業の魅力発信事業 ・魅力発信事業や若者目線を踏まえた就職イベント等の実施・PR ・デジタル技術を活用した都市部、遠隔地へのアプローチ		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○低年齢層（及び保護者）に向けた市内産業・企業の魅力発信事業 ・小学生ものづくり体験授業（消耗品費、印刷製本費） 1,000千円 ・子どもたちの地域の職人技術体験（負担金） 1,000千円 ・サイエンスフェスタ（講師報償費、消耗品費） 87千円 ○企業合同就職説明会 ・広報チラシ等作成費 735千円 ・会場送迎バス借上料及び運転委託料 772千円 ・ブース設営委託料 1,635千円 ○人材マッチング事業 ・中津市人材バンク事業（委託料） 3,322千円 ・「中津市企業情報提供サイト」などを活用した企業魅力の発信（委託料） 473千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市の取組みによる市内企業への新規就職者数（+27人） ②企業PR動画再生数（動画投稿サイト等累計）及び企業情報提供サイト閲覧件数（+32,000回）	関連URL	（効果検証） https://www.city-nakatsu.jp/doc/2017030100042/

申請者	大分県竹田市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	43,918千円 (10,222千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	1) 地域の情報発信を支援（地域情報デジタル化支援） 2) 地域コミュニティの基盤強化を図る 3) 企業の求人情報の明確化、マッチングによる人材の確保を図る 4) インターンシップをする中で、地域・企業・行政の連携を図る 5) 三位一体（行政・地域・企業）による移住施策の展開を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1) <委託料> 2,248千円 ■ 地域コミュニティホームページ制作ツール導入 他 2) <補助金> 600千円 <委託料> 3,166千円 ■ 移住受入地域の環境整備 ■ 地域コミュニティのデジタル化・デジタル人材育成及び地域運営組織形成支援他 3) <委託料> 3,328千円 ■ 企業情報の掲載 4) <委託料> 2,008千円 ■ 社会人インターンシップの実施他 5) <委託料> 880千円 ■ 新たな求人サイトに本市の特設サイトを開設		 たけたでつくる、暮らしの根っこ。 build a life はじめまして。「+build.（プラスビルド）」は、大分県竹田市への移住を考えている方に向けたWEBメディアです。buildにはコツコツと作り上げていくというニュアンスが含まれています。移住は一日にしてならずです。あなたの移住のカチを私たちがコツコツとサポートします。
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①竹田市の施策による移住した世帯（+134世帯） ②社会人インターンシップに参加し移住した世帯数（+20世帯） ③「ふるさと求人マッチングサイト」に登録した民間事業者数（+26件） ④地域コミュニティ基盤強化取組件数（+14件）		関連URL https://www.city.taketa.oita.jp/so-shiki/kikakujohoka/chihousousei/4410.html https://taketa-iju.com/

推進当初

事業概要【「地域ぐるみ」で効果的な認知症予防推進事業】

推進当初

申請者	大分県豊後高田市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	11,585千円 (3,781千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	・介護予防、認知症予防を効果的に持続的に実施する。 ・閉じこもり・孤立を防ぎ、平時から見守りあう支援体制を構築する。 ・地域資源の活性化、地域コミュニティの活性化を図る。 ・壮年期からの認知症予防、生活習慣病予防に寄与。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○脳もからだも生き生き元気事業 認知機能低下の該当が多い地区においてデジタルツールを活用した認知症予防教室を開催（8回シリーズ） ・デジタルツールの使用料等806千円 ・運動推進員、管理栄養士等の謝礼、委託料 293千円 ○運動推進員の養成・派遣事業 運動推進員の養成講座、運動推進員の地域への派遣 ・理学療法士等の謝礼、運動推進員の派遣料 2,430千円 ○脳のはたらきチェック＆相談会 働き世代の特定健診、がん検診受診者へ、デジタルツールを活用した脳のはたらきチェック＆相談会を実施 ・デジタルツール使用料等252千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①脳もからだも生き生き元気事業参加者数（+50人） ②MCI（軽度認知障害）を知っている方の割合（+15%） ③教室参加者のうち、MPIスコア50.2以上の方の割合（+17%）	関連URL	https://www.city.bungotakada.oita.jp/soshiki/4/2189.html

申請者	大分県宇佐市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	80,554千円 (27,949千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・地域商社の設立による地域資源の逸品化による「地産都消」を目標に稼げる地域の創出を図る。 ・1次産業事業者の所得の向上とU I Jターンを含めた担い手の確保し、「持続可能で強い産業」の実現。 ・地域に足を運ばないと味わえない逸品も開発し、観光や製造業等他産業との連携による「外貨の獲得」。 ・「地域経済の好循環化」により、雇用の確保と人口減少に歯止めをかけ誰もがウェルビーイングのまちを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域商社が行う販路開拓、販売拠点の運営・獲得、オリジナル商品の販売、ふるさと納税関係の出品やスキル構築 (委託料) 19,015千円 ○ブランド認証品へチャレンジするスタートアップ支援や生産性の拡充や売上実績向上者への支援 (補助金) 2,000千円 ○ブランド認証事業者のPRや販路拡大に係る支援 (委託料) 2,630千円 ○世界農業遺産を活用した地域資源、観光開発などのソフト事業の取組支援 (補助金) 600千円 etc 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ふるさと納税の寄付額 (+30億円) ②地域商社が関わったふるさと納税の返礼品商品開発数 (+17品) ③地域商社設立後の市のブランド認証品の売上額 (+7,000万円)	関連URL	調整中

事業概要【宇宙ビジネスを活用した米ブランド化事業】

推進当初

申請者	大分県玖珠町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	75,788千円 (26,913千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・衛星データを活用した農業を行うことで、米生産の効率化、省力化、米のブランド化（宇宙米（仮称））し、農業所得の向上を図る。 ・後継者や担い手の確保を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○宇宙に着目した米づくりを行うことで、他の生産地との差別化を図り、米の販売額の向上を目指す。 ・宇宙関連事業の伴走支援コンサル（委託料） 8,580千円 ・水稻の生育分析業務（委託料） 3,850千円 ・ブランド実態調査（委託料） 3,850千円 ・販路開拓PR費用（委託料） 4,000千円 ・宇宙米コンサルティング（委託料） 6,600千円 ・ブランド米検査費用 33千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農業経営体数（+16経営体） ②基幹的農業従事者数（20～39歳）の人数（+13人） ③米価格（玄米30kg）（+30,800円／30kg） ④宇宙関連事業における新規起業者数（+4起業者）	関連URL	https://www.town.kusu.oita.jp/c/hoseijoho/machinoseisaku/4/2/2298.html

申請者	大分県、別府市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	293,951千円(91,317千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・県内の学生に社会で活躍できるハイクラスな教育パッケージを提供する ・国際交流や起業家とのセッションを通じて、学生にグローバルな意識や起業家精神を持ってもらう ・宇宙関連ビジネス等を盛り上げることで、学生が社会に出て活躍したいと思える場を創出する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○先端技術等の興味を持つグローバル人材の輩出・育成 ・「データサイエンス講座」や「大分STEAMフェスタ」等の実施（委託料等）30,196千円 ・デジタルモデル校で培ったデジタルスキルノウハウの横展開支援（委託料等）11,279千円 ・シリコンバレーの起業家等との交流セッション(委託料) 17,661千円 ○国際交流等を通じたグローバルな意識醸成 ・ウェールズとの国際交流・子供向けワークショップの開催（委託料）3,031千円 ・ウェールズサマースクール事業（負担金）2,000千円 ○宇宙関連ビジネスの振興 ・宇宙ビジネス創出支援（謝金、使賃、委託料）8,022千円 ・宇宙ビジネスの実装に向けた取組支援（補助金）8,000千円 ・宇宙産業を担う次世代人材育成（委託料等）11,128千円	<pre> graph TD A[国際交流/起業家精神] -.-> C[STEAM教育] B[デジタルスキル] -.-> C C --> D[宇宙産業の振興・企業のチャレンジ促進] </pre>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+81人） ②グローバル人材として活躍するための素地を備えた生徒の割合（+4.5%） ③先端技術等を活用した商品やサービスの創出件数（+10件） ④開催するセミナー・ワークショップ参加者数（+990人）	関連URL	https://www.pref.oita.jp/soshiki/10112/sennryakukpi.html

推進当初

42

事業概要【佐伯版DMOによる観光産業創生事業】

推進当初

申請者	大分県佐伯市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	120,840千円 (40,280千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・佐伯版DMOによる地域マネジメント機能強化を図る ・温泉観光地との差別化・共存に向けた観光コンテンツ造成による集客を図る ・観光情報発信及び観光統計におけるデジタル活用・普及により、来訪者満足度向上を図る ・観光消費額の拡大による地域活性化を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	国内誘客推進事業 24,093千円 ①企画ツアー商品造成事業 ②四季を通じた食のフェア事業 ③日本さかな検定事業 ④国内・教育旅行商談会事業 ⑤部活動支援事業 ⑥県南3市ツーリズムパワーアップ協議会事業 ⑦観光資源調査研究及び観光統計調査事業 情報発信事業 16,187千円 ①情報発信業務等コーディネート事業 ②ホームページ管理運営 ③ポスター、グッズ等デザイン事業 ④観光パンフレット管理事業 ⑤広告媒体情報発信事業 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+92,265千円） ②本市における延べ宿泊客数（延べ）（+24,964人） ③本事業における来訪者満足度（+75%） ④本市訪問のリピーター率（+35%）	関連URL	調整中

事業概要【地域商社を軸とした地域産業活性化事業】

推進当初

申請者	大分県玖珠町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	130,190千円 (13,370千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的 (効果)	地域商社という新しい組織を立ち上げ、ICT技術を含むデジタル技術の活用、商品開発やマーケティングなど、専門知識と新たな雇用を作り、専門的な人材による営業強化を含めた、戦略的に地域経済の縮小の克服を目指す。 1. 町外からノウハウを持った法人に委託し、地域商社を設立 2. ICT技術を含むデジタル技術を活用した新たな商流や販路開拓を行う。 3. 自走に向けた人材の確保育成を図る 4. 上記により短期間にリソースを集中し実行することで3年間で商社基盤を構築する。(自走できる体制の構築)		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新規商流／販路開拓事業 (OEM／フルフィルメント他) ・商社形成における基盤整備 (調査委託料) 3,000千円 ○情報発信事業 ・Webページ制作費 (委託料) 3,260千円 ・コンテンツ作成費 (委託料) 3,850千円 ・広告宣伝費 (委託料) 3,260千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額 (+2億円) ②本事業における地域産品の売上高 (+86,000千円) ③地域商社の雇用者数 (+7人) ④情報コンテンツの利用数 閲覧数 (+61,000人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.town.kusu.oita.jp/c/hoseijoho/machinoseisaku/4/2/2298.html

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

申請者	大分県由布市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	437,388千円（18,952千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	道の駅ゆふいんは、高速道路湯布院IC、国道210号、県道別府湯布院線（通称やまなみハイウェイ）に接続する立地特性を活かし、すでに観光地として確立されている湯布院町のみならず、由布市全体へ来訪者をつなぐ「由布市のゲートウェイ機能」を成し遂げる道の駅を目指す。		
整備内容・利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	道の駅の物産館建て替えによる利便性・快適性向上や、デジタル技術を活用した円滑な業務推進・情報発信の推進を行うとともに、駐車場整備による受入れ体制の強化を図る。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】 24,000千円 ・実施設計業務委託 1式 18,952千円 【合計】 18,952千円	■物産館イメージ   	
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①由布市の観光消費額（+40億円） ②道の駅ゆふいんの物産館年間売上額（+2,870万円） ③道の駅ゆふいんの年間利用者数（+21.62万人） ④デジタルコンテンツ利用者数（+30千人）	関連URL	調整中

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【国東半島の海（眺・食）を活かした浜焼き施設整備事業】

拠点補正

申請者	大分県豊後高田市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	期間中の総事業費	118,745千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	全国的に珍しい観光資源「馬ノ瀬」のトンボロ現象を眺めながら地元海産物が食べられる浜焼き施設を整備し、観光消費額の増加や広域観光の振興を図るとともに、漁業者等の経営安定化も図る。		
整備内容・利活用方策	浜焼き施設において、地元漁業者や近隣漁協と連携した海産物の提供を行うとともに、観光資源である全国的にも珍しいトンボロ現象を実際に眺め、スクリーンでの潮の干満による道の浮き沈みを短時間で上映するなど、広域観光の振興と漁業者及び地域住民等の所得向上を図る。 ・浜焼き施設整備費 91,795千円 ・外構工事費等 22,550千円 ・観光サイン設置費 3,300千円 ・大型スクリーン設置費 1,100千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の観光消費額（+9,715千円） ②施設来訪者数（+6,500人） ③雇用創出者数（+8人）	関連URL	https://www.city.bungotakada.oita.jp/soshiki/4/2189.html

